

肥満、糖尿病、循環器疾患に関する国際共同研究 (Obesity, Diabetes and Cardiovascular Disease Collaboration (ODCDC)) に関する情報公開

1. 研究の対象

愛知職域コホート研究にご協力頂いている中部地方の自治体職員・元職員の皆様（1997年、2002年、2005年、2007年、2013年に実施したアンケート調査ならびに、その後の健診結果の提供や病歴アンケート調査にご協力頂いている方。

2. 研究目的・方法・研究期間

糖尿病は、2030年には世界の死因の第7位になることが世界保健機関（WHO）によって推定されています。糖尿病は、失明や腎不全など身体障害の原因として、さらに動脈硬化性疾患の強力な危険因子として重要な疾患であり、その予防対策が国際保健・公衆衛生上の課題となっています。肥満、糖尿病、循環器疾患に関する国際共同研究 (Obesity, Diabetes and Cardiovascular Disease Collaboration : ODCDC) は、糖尿病発症及び全死亡の発生について一定期間の追跡を既に終了した世界各国のコホートによる国際共同研究です。その目的は、糖尿病発症リスク予測の観点から、体格指標や前糖尿病やHbA1c値といった糖代謝に関連した指標の国際的な基準を作ることであり、特に年齢階級や性別、人種・民族別に検討することを目指しています。また、アメリカ糖尿病学会(ADA)とWHOの前糖尿病 (prediabetes) の基準は一致しておらず、それぞれについて糖尿表発症との関連を本共同研究において検討し、最適な基準値を探索することを目標としています。具体的には、以下の3つを主目的とします。

- I. a) 年齢、b) 性別、c) 人種・民族によって体格指標と糖尿病発症との関連は異なるか検討します。
- II. ADAとWHOによって異なる prediabetes について、糖尿病発症リスクとの関連を検討し、最適な基準について議論します。
- III. 1年、5年、10年の糖尿病発症リスクスコアを開発する。特に、体格及び問診のみからなる非侵襲的モデルと血糖値などを含む侵襲的モデルを開発します。

研究期間 実施承認日～2022年3月31日（予定）

3. 研究に用いる試料・情報の種類

身長、体重、腹囲、空腹時血糖値、追跡期間中の糖尿病の発症・死亡の有無等

4. 外部への試料・情報の提供

オーストラリアの Curtin 大学公衆衛生大学院に置かれた共同研究事務局に匿名化したデータを提供します。共同研究事務局は各コホートの匿名化データを統合した解析データセットを作成します。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科・国際保健医療学・公衆衛生学・教授・青山 温子

名古屋大学大学院医学系研究科・国際保健医療学・公衆衛生学・講師・平川 仁尚

名古屋大学大学院医学系研究科・国際保健医療学・公衆衛生学・講師・江 啓発

名古屋大学大学院医学系研究科・国際保健医療学・公衆衛生学・助教・上村 真由

藤田保健衛生大学医学部・公衆衛生学・教授・八谷 寛

(名古屋大学大学院医学系研究科・国際保健医療学・公衆衛生学・客員教授)

オーストラリア La Trobe 大学・公衆衛生大学院・教授・Rachel Huxley

オーストラリア Curtin 大学・公衆衛生大学院・上級研究員・Crystal Lee 他

ODCDC collaboration

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも皆さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者）：

国際保健医療学・公衆衛生学

教授・青山 温子

名古屋市昭和区鶴舞町 65 医系研究棟 2 号館 7 階

電話 052-744-2128

FAX 052-744-2131

e-mail p-health@med.nagoya-u.ac.jp

研究代表者：

オーストラリア La Trobe 大学・公衆衛生大学院・教授・Rachel Huxley